

CONTENTS

- 特色GPとは?
- 学長・学部長あいさつ
- 経済学基礎知識1000題とは?
 - 選定理由・これまでの取組
 - 教育効果を上げる工夫
 - 自学自習システムの活用
 - 自学自習システムの有効性と成果
 - 学習の流れ・実際の画面を見てみよう!
- 特集1「進化する自学自習システム」
- 特集2「政策学基礎知識1000題」
- 特集3「フレンテッラーニング」授業体験
- 教員VOICE
 - 教員から見た経済学基礎知識1000題
- 学生VOICE
 - 学生の利用方法・利用成果
- 2007年度 活動内容
- イベント情報
- イベント開催報告
- 今後の展開
- お問い合わせ

2006年度 活動内容

自学自習システム更新

- 携帯電話による自学自習システム利用が可能に
- 特定のジャンルごとに設問群を分類できる「ブック機能」を追加するなど利便性を向上



携帯電話による自学自習システムの流れ



取組の推進、教育実践

- 経済学部にて特色GP推進委員会を設置
- ビデオ教材コンテンツ確立に向けたTESIによる講義のビデオ収録
- 自学自習対応のメンター(社会経済担当)を学術情報センターに配置
- 他学部にも自学自習システムに向けた取組が拡大

FD活動

- 授業評価アンケートに自学自習に関する項目を設置
- 教職員のITスキルのレベルアップをめざし講習会や研修会を実施
- 本学のネットワークシステム、CCSの活用に関する全学の研修会を開催

情報公開

- 全国4会場で開催されたGPフォーラムに参加
- 本学主催「教育の情報化シンポジウム」開催
- 高校生への授業体験を実施
- 特色GP専用Webサイトを設置

2007年度 活動内容はこちら

CONTENTS

- 特色GPとは？
- 学長・学部長あいさつ
- 経済学基礎知識1000題とは？
 - ▶ 選定理由・これまでの取組
 - ▶ 教育効果を上げる工夫
 - ▶ 自学自習システムの活用
 - ▶ 自学自習システムの有効性と成果
 - ▶ 学習の流れ・実際の画面を見てみよう！
- 特集1「進化する自学自習システム」
- 特集2「政策学基礎知識1000題」
- 特集3「フレンドラーニング」授業体験
- 教員VOICE
 - ▶ 教員から見た経済学基礎知識1000題
- 学生VOICE
 - ▶ 学生の利用方法・利用成果
- 2007年度 活動内容
- イベント情報
- イベント開催報告
- 今後の展開
- お問い合わせ

2007年度 活動内容

自学自習システムの修正点

詳しくはこちら

取組の推進、教育実践

- 前年度に引き続き、経済学部の特色GP推進委員会(委員長・経済学部長、全10名)を通じて、科目間の標準化の調整や教授会での連絡、FD活動との連携、進捗状況の確認などが行われた。
- 6月より、政策学科の「政策学基礎知識1000題」が運用開始される。
- 7月と1月を自学自習強化月間とし、学生への普及を推進した。
- 「日本経済論」の集中講義で、一コマごとに「自学自習→講義→課題提出→小テスト」というCCSを中心とした教授法を実施し、教育効果を把握した。
- 秋学期より「ミクロ経済学実習」を開始。一方的な講義でなく、授業時間内で自学自習システムの演習問題を解き、不明な箇所をマスターするという取り組みである。
- CCSの学生ポータルトップにQRコードを添付し、携帯用CCSへの誘導を強化。学術情報センターの設置パソコンにもQRコードを添付。
- 基礎的な設問を厳選した「経済学部生のための基礎知識300題」の作成に向けた検討を開始。2008年度中に在学生に配布し、実際の授業での利用を図る予定である。

FD・SD活動

1. 学内の取組

- 6月20日(水)午前、教職員対象にIT活用講習会を開催。IT活用事例報告会(名古屋および瀬戸キャンパスの双方向ライブ配信)のほか、CCS講習会「初歩からのCCS」「自学自習、Excel活用」「TIES講習会」を実施した。
- ミクロ・マクロ担当者会議を随時開催し、前年度に引き続き、内容の標準化に向けた検討を行った。
- 自学自習にあるミクロ・マクロ経済学のうち80題を精選し、教員間の問題の相互チェックを実施。教育内容の標準化とPDCAサイクル 確立の推進を行う。
- 授業評価アンケートの中で自学自習システムに関する項目を設定。

2. 学外研修会等への教職員派遣

- 6月29日(金)30(土)、メディア教育開発センター主催「eラーニングセミナー」。
- 8月2日(木)～4日(土)、コンピュータ利用教育協議会・全国大学生生活協同組合連合会主催「2007PCカンファレンス」。
- 8月31日(金)文部科学省、メディア教育開発センター、国立情報学研究所主催「情報セキュリティセミナー」。
- 9月4日(火)～6日(木)、私立大学情報教育協会主催「大学教育・情報戦略大会」。
- 11月7日(水)～9日(金)、私立大学情報教育協会主催「大学情報化職員研修会」。
- 11月15日(木)～17日(土)、大学NUA主催「NUA学術情報システム研究会」および熊本大学総合情報基盤センター視察。
- 12月8日(土)大正大学サイバーキャンパスネットワークプロジェクト報告会。
- 1月24日(木)、帝塚山大学主催「特色GP特報シンポジウム」。
- 1月30日(水)、メディア教育開発センター主催「ICT活用による教員の教育力向上のためのFD実践」。

情報公開

1. 本学主催の講演会

6月20日(水)、白鳥学舎にて「特色GP公開講演会2007」を開催。本学取組の進捗状況報告の後、メディア教育開発センター理事の清水康敬氏より「ICT活用による大学教育の質の向上」をテーマに講演いただいた。この講演会はTIESにより一船にもライブ配信された。

2. メディアでの報道

携帯電話による自学自習システムがテレビ報道される。6月12日(火)、中部日本放送(CBC)「イッポウ」、6月15日(水)にはTBS系列のニュースで全国放映。

3. リーフレットの作成・配布



取組を紹介するリーフレットを作成し、全国の大学・短期大学、近隣の高等学校に配布した。携帯電話による自学自習のリーフレットも作成した。

4. ウェブサイト

専用サイト(www.nueup.jp)で最新情報を随時、発信した。

5. 学会発表

- 8月4日(土)、2007PCカンファレンス。
「自学自習システムによるモバイル・ラーニングの試み」(報告者:経済学部准教授 児島完二)
「多様化する英語学カへの対応:フレンドラーニングの試み」(報告者:経済学部准教授 城哲哉)
- 12月1日(土)、第70回外国語教育メディア学会(LET)中部支部研究会・シンポジウムにおいて、「英語必修科目の再履修者を対象としたフレンドラーニングの試み」をテーマに、CCSとTIESを利用した報告がなされた。(経済学部准教授 伊藤隆、経済学部准教授 城哲哉、商学部准教授 須川精致、商学部准教授 遠本美香)

6. 雑誌論文掲載

- 児島完二、2007、「経済学経済学における導入教育としてのIT活用～学生の多様化に対応した取り組み～」『大学教育と情報』Vol.15 No.4(通巻117号)、社団法人私立大学情報教育協会、pp11-13
- 児島完二、2008、「名古屋学院大学におけるFD志向のICT活用」『eラーニング等のICTを活用した教育に関する調査報告書(2007年度)』、独立行政法人メディア教育開発センター、pp115-119

7. 視察対応

金沢工業大学、札幌学院大学、札幌大学、東海大学、日本経済学教育協会など

8. その他

『日経BPムック「変革する大学シリーズ」名古屋学院大学2007-2008年版』でCCS(pp28-33)、特色GP(pp34-37)を紹介。

2006年度 活動内容ははこちら

このページのトップへ